

<組織体制>

(平成25年4月1日現在)

(50音順)

名誉会長
井戸 敏三
兵庫県知事

**代表
副代表**

顧問
石原 憲一郎
花緑センター長

アドバイザー
須磨 佳津江
キャスター

あいあいパーク	宝塚地区
相生市花と緑の協会	相生地区
あわじオープンガーデン 実行委員会	淡路地区
川西市緑化協会	川西地区
訓谷オープンガーデンの会	香美地区
NPO法人 さわやか緑花クラブ	猪名川地区
三田グリーンネット	三田地区
丹波の森花くらぶ	丹波地区
とよおかオープンガーデン ショー実行委員会	豊岡地区
NPO法人 ハートフルガーデン中播磨	中播磨地区
ひょうごオープンガーデン 開催機	播磨地区

お問い合わせ先

兵庫オープンガーデンネットワーク事務局

公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

〒673-0847 明石市明石公園1番27号

TEL 078-918-2405 FAX 078-919-5186

E-mail : info_midori@hyogopark.com



兵庫 オープンガーデン ネットワークへようこそ



私のお庭にお越しく下さい。

I 兵庫オープンガーデンネットワーク設立の経緯

2000年の淡路花博「ジャパンフローラ2000」の盛り上がりを契機に、播磨地域や丹波地域、三田市等で相次いでオープンガーデン組織が発足しました。

2003年秋、兵庫県下のオープンガーデングループの交流を促し、またオープンガーデンがいかにかまちなみや景観に対する市民の意識を高め、美しいまちづくりに寄与しているかを知ってもらい、それぞれの活動の発展に繋げていこうと、オープンガーデンを介した「兵庫花と緑のまちづくりフォーラム」が開催されました。

当日、参加者の内から「フォーラムの継続開催」の提案が採択され、後日関係者による熱心な協議を経て、2004年春、オープンガーデンに取り組む9グループが手を繋ぎ、「兵庫オープンガーデンネットワーク」(兵庫OGN)が誕生しました。以来、参加団体が順に事務局を担当し、オープンガーデンを通して、まちなみや景観を美しくするまちづくりの大切さを発信してきました。

<目的>

兵庫オープンガーデンネットワークは、県内のオープンガーデンを活かしたまちづくり活動をする団体が、互いに交流し、情報の交換と親睦を図ると共に、兵庫県及び市町行政との連携を図りながら「花と緑あふれる兵庫」の実現に寄与することを目的としています。

<目指すもの>

設立以来、個性豊かなオープンガーデンが、各地域で盛んに開催されるようになり、兵庫県下に、より大きな「輪」となって広がっています。

これからも、それぞれのグループがオープンガーデンを自主的に運営し、人と街が育っていくことを目指して、オープンガーデンのおもてなしの心を発信します。

II 設立 平成16年

III 対象範囲 兵庫県内のオープンガーデン実施団体



<オープンガーデン豆知識>

オープンガーデンの始まりは？

イギリスで1927年設立のナショナル・ガーデン・スキーム(以下 NGS)という慈善団体が、個人庭園などを一般に公開し、それに関わる収益を看護・医療など公益団体に寄付するという活動をはじめたのが始まりと言われています。

この一般公開される庭に関する情報(公開日・連絡先・入場料など)を一冊の本にまとめたのが、「GARDENS OF ENGLAND AND WALES」で、通称は、表紙の色にちなんでつけられたイエローブックです。

年に一度発行されるこのイエローブックに掲載するにはNGSの厳しい審査があり、更に自分の庭がチャリティーに役立つということから、イエローブックに掲載されることは庭主の誇りとなっています。

日本のオープンガーデンのこと・・・

70年以上の歴史を持つイギリスに比べますと、日本の活動は最も古いものでも10数年の歴史で、まだ始まったばかりと言えます。

今までの日本の庭は塀や生け垣に囲まれたものであり、個人住宅では、庭は家人が楽しむもので、「人に見せる」という考えはあまりありませんでした。

それが「ガーデニング」という海外の文化?により、考え方も変わってきています。一時のブームではなく、花や緑を育てる喜び・見る喜び・魅せる(楽しんでもらう)喜びというのが定着しつつあります。

しかし、日本におけるオープンガーデンは、まちの景観形成によるまちづくりや観光振興を目的としている事例が多く、イギリスの物真似でない「日本型のオープンガーデン」が生まれつつあります。